

可視光応答性を示す新規蛍光プローブの合成と光化学物性

1200189 岩崎 智子

Synthesis and Spectroscopic Properties of a Novel Fluorescent Probe

Tomoko Iwasaki

Exhibiting Visible-Light Absorption

周辺環境を蛍光挙動変化として検出することにより高感度な分析が期待できることから、これまでに様々な蛍光プローブが開発されてきた。中でも電子供与および求引基を導入したパラ二置換ベンゼン誘導体は、局所的な環境を鋭敏に検出するプローブとして機能することが知られている。¹ しかしながら、その多くは紫外線領域にのみ光吸収を示し、可視光を吸収するものはごく限られている。そこで本研究では、可視光応答性を示す新規蛍光プローブの開発を目的とした。

二段階の反応によりアントラセンの9および10位にそれぞれ電子供与および求引基を導入した新規化合物は、室温溶液状態において強い蛍光を示した。その光化学物性を、電子供与あるいは求引基のみをもつ化合物と比較した結果とあわせて当日発表する。

文献

1) K. Kobiro, Y. Inoue, *J. Am. Chem. Soc.* **2003**, 125, 421–427.